

南関町庁舎 第1回ワークショップのご報告

南関町における各団体の代表の方々や一般公募による町民の皆様をはじめ 10～80 歳代の幅広い年代の皆様にご集まっていただき、「南関町庁舎建設等基本設計」の概要説明と屋外広場4カ所を現地で見させていただき、屋外広場活用に関する町民の皆様のご意見をうかがうことを目的に「第1回庁舎等建設に係る屋外広場活用に関するワークショップ」を行いました。

■ 庁舎建設事業の経緯

はじめに、南関町まちづくり課の坂田課長より、庁舎等建設事業の経緯を話していただきました。また、今回の建設委員会の委員長であり、ワークショップのアドバイザーでもある崇城大学の西郷准教授と元南関高校校長で、現在ヒロ・デザイン専門学校の理事である下田先生のご紹介と私たち内藤建築事務所のご紹介をしていただきました。

■ 第1回ワークショップ

今回参加された町民の方は初めて南関高校に入る方もいらっしゃいましたので、プロジェクターによる案の説明と「防災広場、健康ふれあい広場、南高跡公園、中庭」の4つの屋外広場を現地で見させていただき、周辺環境や特徴を説明させていただきました。ワークショップの最後に町民の皆様のご質問やご意見をいただきましたので、ご紹介します。

- ・防災広場は災害時・停電時等に、救護作業が可能な設備計画や雨を避け、炊き出しができるようにしたほうがよいのではないかと。
- ・屋外トイレがあったほうがよいのでは。
- ・防災広場のヘリポートは端の方にあったほうがよいのではないかと。
- ・健康ふれあい広場の夜間・休日利用を行うか。その場合、管理体制やWC利用等対策が必要。
- ・旧南関高校はソフトテニスが強かった時代があった。テニスコートをそのまま残してもよいかも。
- ・中庭を新しくするなら周りの校舎外壁も塗替えしないと見栄えが悪い。
- ・中庭の考える人の像は、勤務されていた先生が亡くなられた際に寄贈されたもの。思い入れがある方もいる。
- ・南高跡公園は花見やバーベキューなど、家族や友人たちと利用できる空間としてほしい。また、夜間の利用があれば役場のWCを開放してほしい。



庁舎建設の経緯や概要の説明



現地でのワークショップ



現地を見て屋外広場について意見交換

初めて見た設計案や南関高校の屋外広場にも関わらず様々な質問や意見をいただきました。町民の方々の関心と良い雰囲気により、次回の第2回目につながるワークショップとなりました。貴重な日曜のお忙しい中お集りいただき心より感謝申し上げます。